

令和3年度 事業報告について

I. 概況

令和3年度は、事業計画に基づき、就業開拓提供事業、相談事業、普及啓発事業等の各事業を推進するとともに、会員の適正就業確保のために、請負事業と派遣事業の適正な契約及び就業の実施に努めました。

こうした中、令和2年当初から、世界的規模で蔓延した新型コロナウイルス感染症は、令和3年度においても、公共施設の開館時間の短縮や民間企業の事業活動の停滞等により、少なからずシルバー人材センターの運営に影響を及ぼすことが懸念されてきたところであります。

こうした厳しい状況下において、会員・役職員が一丸となって事業運営に取り組んだ結果、事業実績においては、契約金額ベースで派遣事業を含めた全受託事業では、対前年度比で約11,154千円、3.1%の増加となったところであり、会員一人ひとりのたゆまぬ努力の積み重ねにより、前年度を上回る結果を残せたものと考えます。

会員数においても、新型コロナウイルス感染に対する懸念や65歳定年制定着の影響などにより更なる減少が懸念されていたところでありますが、サポート事業の取組みや積極的なPR活動、退会防止策の実施などにより、対前年度比で59人、9.8%の増加となりました。

なお、令和4年2月25日に、当シルバー人材センターは、創立40周年の節目を迎えたところであります。コロナ禍の影響により記念式典等の記念行事は開催できませんでしたが、これを契機として、この先10年後、20年後の将来を見据えて、会員・役職員一丸となって、強固な運営基盤の構築に向けて、意を新たにしたところであります。

II. 事業概況

公益目的事業推進のための重点項目

- 1 就業開拓提供事業
 - (1) 受託事業
 - (2) 労働者派遣事業
 - (3) 独自事業
 - (4) 有料職業紹介事業
- 2 相談事業
- 3 安全・適正就業推進事業
- 4 普及啓発事業
- 5 調査研究事業
- 6 訓練研修事業

Ⅲ. 事業報告

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業

サポート事業推進員を配置し、センター事業の拡大、及び会員の確保に努めました。

また、会員数の確保においては、町内会回覧板を活用したチラシ配布や市・村の広報紙に広告を掲載するなどの勧誘活動に努めたほか、ポイントカードの特典充実や年度末入会者に対する会費無料キャンペーンなどを実施しました。令和3年度の実績は下記のとおりであります。

- ・就業延日人員 54,352 人
- ・契約金額 307,414,698 円

(2) 労働者派遣事業

受託事業の更新時及び新規依頼に関する契約において、適正就業を推進するため、契約内容が指揮命令や混在等に該当する契約については、発注先との協議を行い派遣事業への切り替えに努めました。

- ・就業延人員 10,916 人
- ・契約金額 65,398,005 円

(3) 独自事業

会員の経験・知識・技術を生かし、受託事業に依存しない独自の就業機会の確保として、事業に取り組みました。

女性会員で組織する「みちのく工房」事業については、日用小物などの作品を手作りし、観光施設等での販売を行いました。

- ・延べ人員 140 人
- ・売上金額 24,000 円

(4) 有料職業紹介事業

高齢者を対象とした就業機会の提供・調整を推進するため、「職業紹介責任者」の資格を有する職員を配置し、有料職業紹介事業の推進に努めました。

2 相談事業

毎月1回実施しているセンターの概況や事業内容に関する入会説明会を主体とし、地域の高齢者に対して、事務所窓口や電話などによるセンター事業への相談対応・情報提供を実施し、相談事業の推進に努めました。

サポート事業により、全会員を対象とした「就業相談会」を昨年度に引き続き実施するとともに、長期継続就業者に対する「特別就業相談会」を新たに実施し、会員の退会抑制に努めました。

3 安全・適正就業推進事業

仕事を安心して依頼できる事故の無いセンター作りのため、各種講習会や

ミーティングを通じて安全指導を行うとともに、就業機会を均等に提供するように努めました。

- (1) 入会説明会において、「安全就業のしおり」や「ゆとり就業」のチラシを配布。
- (2) 各地区において、安全対策部会員による巡回パトロールを行い、安全確認・指導を実施。
- (3) 会員ミーティングの際に、就業に応じた事故防止の資料を配布するなど、安全就業の徹底と事故防止の指導を実施。
- (4) 同じ場所で長期にわたり継続して就業している会員を調査し、長期継続就業とならないよう就業の適正化を推進。

4 普及啓発事業

イベントの中止や新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から街頭啓発等は実施を見送りましたが、センター事業の地域浸透を図るため、「会員募集のチラシ」や「シルバー人材センターの紹介パンフレット」を各所に配備するなど、PR活動を行いました。

- (1) 公共施設や小売店舗、金融機関等におけるパンフレット等の配備等を通じてセンター事業の紹介。
- (2) センター行事の新聞等を活用した広報活動の実施。
- (3) ホームページを活用した、センター行事等の情報提供による普及活動の実施。
- (4) 町内会回覧板を活用した「会員募集チラシ」の各戸への配布や市・村の広報紙に有料広告を掲載するなどPR活動の実施。

5 調査研究事業

発注者へのサービス及びセンター事業の充実を図るため、会員及び発注者並びに他センターに対し、各種の調査を行いました。

- (1) 会員の就業意向については、入会時に意識・希望調査を実施。
- (2) 会員に対する現況調査の実施。

6 訓練研修事業

会員及び地域の高齢者が、知識・技能を習得することにより資質の向上を図る訓練研修を行い、就業機会の拡充に努めてまいりました。

- (1) 入会研修
入会希望者を対象として、責務と心得や基本理念・目的、事業内容を習得するための研修会を毎月開催しました。
- (2) 実務研修
サポート事業として、会員のスキルアップのため、新型コロナウイルス感染予防に努めながら、各種実務研修等を実施しました。

- ア 刈払機取扱講習会（初心者）
- イ 刈払機資格取得講習会
- ウ 植木剪定講習会（初心者・現地実技指導）
- エ 清掃講習会
- オ 介護予防・日常生活支援総合事業研修会
- カ 介護予防・日常生活支援フォローアップ研修会
- キ 高齢者料理講習会
- ク 接遇研修会（新入会員ほか）
- ケ 高齢者安全運転講習会

(3) 県シルバー人材センター連合会と連携を図り、女性会員拡大に向けた試行的取組みとして、「生き生きセミナー（フラワーアレンジメント講習、女性のためのシェイプアップトレーニング講習及び就業体験）」を開催し、シルバー人材センターの活動の周知に努めました。

7 公益社団法人としての一般事業

(1) 総会・理事会等、各種会議の開催

- | | |
|--------------------|-------|
| ①総会 | 1 回開催 |
| ②理事会 | 6 回開催 |
| ③監事監査（内部監査） | 2 回実施 |
| ④組織委員会 | 3 回開催 |
| ⑤業務委員会 | 2 回開催 |
| ⑥安全対策部会 | 2 回開催 |
| ⑦福祉対策部会 | 2 回開催 |
| ⑧編集部会 | 4 回開催 |
| ⑨女性部会 | 2 回開催 |
| ⑩創立 40 周年記念事業実行委員会 | 1 回開催 |
| ⑪式典・祝賀会部会 | 4 回開催 |
| ⑫40 周年記念誌編纂部会 | 4 回開催 |

(2) 税理士による監査（外部監査） 2 回実施